

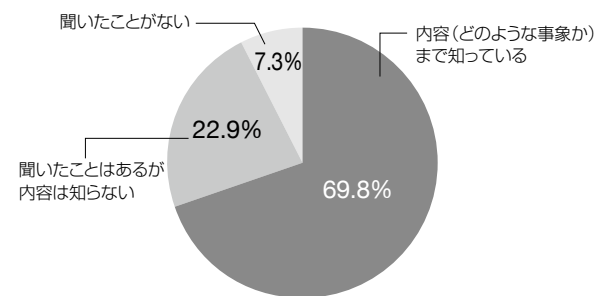
## 「STOP! ヒートショック」プロジェクトについて

東京ガス株式会社

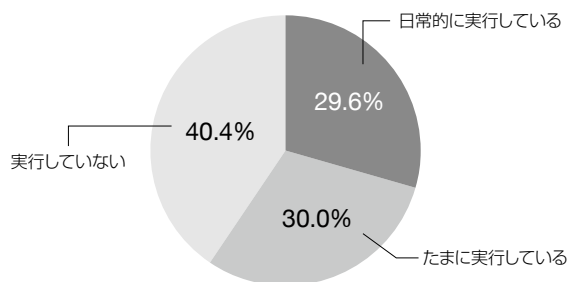
東京ガス株式会社は、今年度も「STOP! ヒートショック（以下、本プロジェクト）」による取り組みを推進しています。本プロジェクトは、ヒートショックの認知度向上と対策の更なる普及・啓発を目的に、東京ガスが幹事企業となり2018年に立ち上げたもので、これまで協賛企業と共にイベント開催や啓発ツールの配布、公式ウェブサイト等を通じた発信活動を行ってまいりました。

### ■各方面との連携強化と専門家による確かな情報提供の実施

ヒートショックに対する認知度は9割を超えているのに対し、機器購入・リフォームなどを含め、具体的な対策の実施率は6割に満たず、本プロジェクトとして、啓発メッセージをより多くの生活者に届けていかなければならないと考えております。



Q.あなたは「ヒートショック」について見聞きしたことがありますか？



Q.「ヒートショック」に対し具体的な対策を実行していますか？

出典：「STOP!ヒートショックプロジェクト」  
一般インターネットアンケート調査2023(n=1,048)

2024-25シーズンの本プロジェクトは、住まい全体に領域を拡大し活動を展開し、今期の活動より「良好なおうちの環境を整えよう！」を新スローガンとして据え、プロジェクトのロゴマークとセットにしてプロモーションにおける統一ロゴとして活用し、住まいの環境整備が居住者の健康につながる情報の発信を行っております。



【新ロゴマークとスローガン】

公式SNS (X) では、協賛企業の商品・サービスの紹介やキャンペーンを実施するほか、アンバサダーの「プカ太郎」によるInstagramでの発信もスタート。医師をはじめとする専門家による対策コラムなど、今後も各方面と連携した効果的な啓発活動を推進してまいります。

### ■2024 - 25シーズンは外部の活動も盛んに実施

10月20日に行われた東京内科医会市民セミナー、11月9・10日に行われた日本応用老年学会へのブース出展など、外部セミナー・学会等においてもプロジェクト公式ツールの配布や対面でのご説明を通じて啓発活動を積極的に行っております。



【東京内科医会市民セミナーの様子】  
(写真を一部加工しております)



【日本応用老年学会の様子】  
(写真を一部加工しております)



【2024年度啓発ツール例】(ポスター)



【2024年度啓発ツール例】(シール)

協賛各社での活用に加え、2025年始の東京消防庁出初式で来場するお子様に配布予定です。

【協賛企業】

〔幹事企業〕東京ガス株式会社

株式会社コロナ、セコム株式会社、ダイキン工業株式会社/ダイキンHVACソリューション東京株式会社、TOTO株式会社、株式会社ノーリツ、リンナイ株式会社、株式会社パロマ、SFA Japan株式会社、新コスモス電機株式会社、三菱ケミカルインフラテック株式会社、株式会社LIXIL

<協力医療団体>

一般社団法人 東京内科医会  
一般社団法人 日本プライマリ・ケア連合学会

<地方協賛団体>

UTYグループ(山梨県) ヒートショック対策を考える  
キャンペーン事務局

<パートナー>

一般財団法人 日本気象協会

<後援>

一般財団法人 高齢者住宅財団、一般財団法人 ベターリビング、一般社団法人 住宅リフォーム推進協議会、一般社団法人 リビングアムニティ協会、キッチン・バス工業会、日本床暖房工業会、一般社団法人 ベターライフリフォーム協会

<協力自治体>

栃木県大田原市 神奈川県横浜市

<協力団体>

株式会社ケアリッツ・アンド・パートナーズ  
神奈川ロイヤル株式会社

<運営事務局>

株式会社ヒロモリ

7年目を迎えた「STOP! ヒートショック」プロジェクトは、ヒートショックにかかわる情報のポータルサイトとしての位置を確立しつつあり、各メディア等で取り上げられる機会もますます増加しています。更なる普及啓発のため、取り組みに共感いただける企業様の協賛を募集しております。



【公式ウェブサイトへのアクセスはこちらから】